

# 岩木川ダム 統管だより

038号  
2020年  
6月29日



## 浅瀬石川ダム 湖水循環装置本格運用開始！！

令和2年6月1日(月)、浅瀬石川ダムで水質保全施設“湖水循環装置”の本格運用が始まりました。浅瀬石川ダムは津軽地方の上水道の水がめとなっています。平成24年9月に、水道水の異臭味(かび臭)問題が発生したことを踏まえて、翌平成25年から暫定的な湖水循環装置により運用を行い、異臭味の発生原因である藍藻類の抑制を行いました。その運用と同時に行われたモニタリング調査で、一定の効果がみられたことから、平成30年度から恒久対策施設の工事に着手し、本年度より新湖水循環装置を3基稼働しました。

この設備は、建屋内にある空気圧縮機(コンプレッサー)で製造された空気を直径5センチの給気管を經由して、貯水池内に設置した3ヶ所の湖水循環装置(散気管)から排出することで貯水池を攪拌し、表層(水の温かい層)に集積しやすい植物プランクトンを光の届かない下層(水の冷たい層)に連行、拡散して増殖集積することを抑制するものです。

本格運用初日の6月1日には、佐藤克英 東北地方整備局長が浅瀬石川ダムに駆けつけ、長内伸夫 岩木川ダム統管理事務所長とともに稼働開始を祝うとともに、地域へ安全・安心の利水供給が出来るよう職員一同責務を再確認しました。



稼働を開始する佐藤克英 東北地方整備局長(右)と長内伸夫 岩木川ダム統管理事務所長(左)

# 津軽ダムにて ～オイルフェンス設置訓練を実施～



▲船の係留や救助などにも役立つロープワーク【もやい結び】と【巻き結び】を教わりました。



▲オイルフェンスの連結は参加者全員が行い、手順や留意点を確認しました。



▲実際に対岸までオイルフェンスを設置しました。引かずと損傷してしまうので取り扱いも慎重です。



▲活性炭入りのオイル吸着マットで拡散を最小限に食い止め、柄杓などを使い丁寧に油膜を回収します。

令和2年6月4日（木）、津軽ダムのダム湖“津軽白神湖”へ流れ込む支川の湯ノ沢川で『オイルフェンス設置訓練』を行いました。訓練は、【上流での自動車事故による油流出を想定して、支川にオイルフェンスを設置し油の拡散防止を図る】ことを目的に行われました。

当日は、浅瀬石川ダム維持工事業者の株式会社桜庭建設と津軽ダム維持工事業者の株式会社村上組、そして岩木川ダム統管理事務所職員の総勢31名が訓練に参加しました。

午前9時に岩木川ダム統管理事務所の五十嵐管理課長の開会あいさつで始まり、続いて講師のNPO法人 自然エネルギー・環境協会 北関東・東北支部の加藤貴史氏により“水質事故対策講習”として、水質事故の主な要因や油膜回収の基本工法などが説明されました。その後、“実践的なロープワーク”と“オイルフェンス連結の仕方”などを学んだ後、オイルフェンス設置作業を行いました。

さらに、水面には油膜に見立てたビニールボールが投げ込まれ、油を吸着できる活性炭入りの“オイル吸着マット”や柄杓などで油膜回収作業を行いました。

最後に、小規模水路内での油脂回収を想定し、流下拡散防止の“土のう積工法”や、中和剤を利用した実験を行い、二時間半におよぶ訓練を終えました。

ダムの水は、飲料水やかんがい用水など多目的に利用されており、また様々な生物の生息場所でもあります。水質事故が起きた場合には、被害を最小限に食い止めるため迅速な対応が必要となります。そのため、訓練は実際の手順を確認しながら行われました。

浅瀬石川ダム・津軽ダムの維持工事を請け負う2社の参加者たちは、当事務所が管理する両ダムの水質事故に対応できるよう真剣な面持ちで訓練に取り組んでいました。

協力：浅瀬石川ダム維持工事 株式会社 桜庭建設

津軽ダム維持工事 株式会社 村上組



▲水路や側溝などで油の流下拡散を防止する【土のう積工法】はよく用いられる方法です。



▲浅瀬石川ダムでは、5月13日にオイルフェンス設置訓練を行いました。ホームページ、5月のトピックスで動画を公開中です！

# 現場レポート第7弾

## ～津軽ダム・コンジットゲート内部点検に同行～



今回レポートを担当した、調査課期間業務職員の太田です。普段は見られない現場に同行しました！

### コンジット主ゲート点検は3日間！！密着取材をレポートします😊

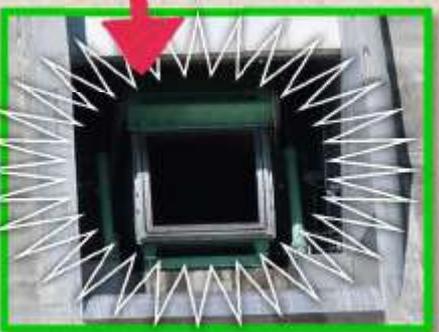
▼放流管内の水が勢いよく流れ落ちます！



◆2日目◆ 5/27(水)

本日は、水を抜いた放流管の点検作業に同行しました。前日に組んだ足場にはしごをかけて、ゲート放流口から中に入ります。放流管は直径4m63cm、全長は約21mあり、かなり広くて大きく感じました。点検では、放流管内にあるゴミや流木の撤去・清掃を実施し、傷やサビがないかを確認しました。

▼コンジット主ゲートが全開で、口を開けているような津軽ダム♪



◆1日目◆ 5/26(火)

コンジットゲート点検に伴う、事前のゲート放流管内水抜き作業に同行しました。

コンジットゲートを真上から見下ろし、いざ水抜き開始。放流管内に溜まっていた水が少しずつ流れ始めると、ゲートが振動し大きな轟音が響きました！これは、水で満たされ真空状態になっていた放流管内の水を抜くことで空気が入り、このような振動と音が鳴るそうです。近くで見ることができたのでとても迫力がありました。

5分程で水は流れ終わりましたが、ゲートの放流口は少し上を向いているのでまだ中に水が残っており、放流口の下に足場を組み、今度はポンプで残った水を吸い上げる作業があります。このようにして、放流管内に溜まっていた水はきれいに取り除かれます。



▲人の大きさの違いに注目！



▼放流管内は想像以上に広がったです！

◆3日目◆ 5/28(木)

3日目は、コンジット主ゲートの動作確認と、コンジット予備ゲートの点検を実施しました。コンジット主ゲートは、洪水がおきて必要な時しか開けないため通常閉じています。今回、動作確認のためゲートを全開にしたので、普段は見られない貴重な光景でした。

コンジット予備ゲートも、主ゲート点検の際に放流管内に水が入らないようにするために使用するものなので、こちらも珍しい光景立ち会うことができました。

3日間の点検に同行させていただき、洪水や出水等のいざという時に備え、コンジットゲートをはじめとした放流設備が確実に作動することが何よりも重要であることを学びました。今回の他にもダムの点検作業はまだまだまだたくさん行われます。日々の業務において、そのひとつひとつを大切に実施していくためのサポートができるよう心がけようと思います。



#### サービスSHOT

じょうようこうずいばき

6月2日に行われた常用洪水吐ゲートの動作点検で津軽ダムがウインクしました★～(-\_~)



# 見つけたらハッピー！？ 津軽ダムナンバー



令和2年5月11日から、登録自動車と軽自動車を対象とした『弘前版図柄入りナンバープレート（弘前市・西目屋村限定）』の交付が開始されました。これに合わせ、津軽ダム立地村の西目屋村では、平成29年4月3日から新規登録を対象として枚数限定で交付を行っていた、原動機付き自転車第一種（50CC以下）の新課税標識（ご当地ナンバー）の交換受付を開始しています。

▲津軽ダムが全体にデザインされた新課税標識

ご存じでしたか？この西目屋村の新課税標識の図柄は“白神山地と津軽ダム”なのです！！これは、村のキャッチフレーズである『世界遺産と水源の里』のイメージに合わせてデザインされたもので、木々の緑と水の青が優しくとても印象的です。

平成29年に交付が開始されているのに、村内であまり見かけない“ダム図柄”のナンバープレート。新規登録限定だと台数も限られ見つけるのも困難なのではないでしょうか…見かけたら何かいいことがありますよね。

今回は、西目屋村の協力で特別にそのナンバープレートの現物を見せていただきました。交換を希望される西目屋村民の方は、西目屋村 税務会計課（☎0172-85-2805）へお問い合わせください。

## 医療従事者の皆様へ感謝を込めて

#Light It Blue

ありがとう

※写真は、令和元年10月に撮影されたものです。現在ライトアップは行っていません。

## 岩木川ダム統管理事務所から お知らせ

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として

浅瀬石川ダム・津軽ダムの

- ・資料展示室の休館
- ・現場見学会の休止
- ・ダムカード等の配布を休止

しております。

※再開の際は、ホームページ等でお知らせ致します。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

## 編集・発行

国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統管理事務所

〒036-1422

青森県中津軽郡西目屋村大字居森平  
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035

FAX 0172-85-3061



〈ホームページ〉

〈Twitter〉

岩木川ダム統管理事務所

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

公式Twitter @mlit\_iwakito

## 編集後記

Twitter未経験でしたが、広報担当となりやむを得ず（?!）恐る恐る初ツイートしました。ツイートにより一瞬にして世界に向けて情報発信！やってみると、なんとも楽しいではありませんか♪そして現在は、自分のスマホでもアカウント登録して利用しています。本来ならば、こちらが先で、公式ツイートの前に試してみるべきでしたが(\*^^\*)

コロナ禍の中でリモートやオンラインが加速度的に普及する昨今、SNSを利用して自分の思いをアウトプットすることで、周りからの反応により新たな発見があったり、頭や心の中の整理が出来ることがありますね。有効活用したいと思う今日この頃です。

公式Twitter開設から5ヶ月が経ちました。タイムリーな情報発信を心掛け、続けていきます。

#岩木川ダム統管理事務所 #@mlit\_iwakito

（森下）